

報告

(社)日本技術士会 北海道本部 倫理研究会
第2回 技術者倫理フォーラム
 ～公衆から信頼される技術者になろう～

● 2011年5月31日 ホテル札幌ガーデンパレス ● 武田 雅志

まえがき

公衆は技術を信頼して豊かで便利な生活を送っている。技術者は技術に内在するリスクを熟知しており、公衆の安全・安心を最優先しなければならない。つまり、技術者には専門技術に関わる「安全」の担保と共に、公衆から信頼されることによる「安心」を付与することが求められています。

さらに、私たち技術者には技術的判断に加え経営的・管理的判断など、様々な場面において常にベストプラクティス(最良の慣行)が求められている。

昨年の第1回技術者倫理フォーラムに続き、本年も第2回技術者倫理フォーラムが開催されました。当日は約100名の皆様にご来場をいただき、技術者倫理への関心の高さを窺うことができました。

今年も「公衆から信頼される技術者になろう」というテーマで、技術者倫理に関する講演や事例研究報告が行われましたので、当研究会の活動報告とPRを兼ねてここに報告したいと思います。



写真-1 フォーラム会場

1. 基調講演

第2回技術者倫理フォーラムでは、(社)日本技術

士会 倫理委員会 委員長 水野正勝氏を招き、改定『技術士倫理綱領』が目指すもの ～技術士倫理要綱改定の経緯とその趣旨について～

と題して、この度の「技術士倫理要綱」の改定について基調講演をいただきました。



写真-2 水野氏

- 現行の「技術士倫理要綱」の改定の必要性、改定に向けての方向等、これまでの改定検討の経緯、方針
- 『改定技術士倫理綱領』の前文、基本綱領、綱領の解説の内容、基本綱領における対人関係と価値基準(7原則)の組み合わせ構成
- 改定案の作成方針として、7原則と各種規範の関係付け、キーワード(説明責任、情報開示、人材育成、国際化)の考慮
- 要綱と綱領の規定としての名称や、独立技術士から企業内技術士への変遷
 などについて、詳しく判りやすくお話しいただきました。図-1に「対人関係と価値基準」を、図-2に「基本綱領」を示します。

対人関係と価値基準（7原則）

| 対人関係 | 7原則 |
|---------------------|--------|
| [技術者] 対 [公衆] | 公衆優先原則 |
| | 持続性原則 |
| [技術者] 対 [業務の相手方] | 有能性原則 |
| | 真実性原則 |
| | 誠実性原則 |
| | 正直性原則 |
| [技術者] 対 [技術者] | 専門性原則 |

図-1 対人関係と価値基準

（公衆の利益の優先）

1. 技術士は、公衆の安全、健康及び福利を最優先に考慮する。

（持続可能性の確保）

2. 技術士は、地球環境の保全等、将来世代にわたる社会の持続可能性の確保に努める。

（有能性の重視）

3. 技術士は、自分の力量が及ぶ範囲の業務を行い、確信のない業務には携わらない。

（真実性の確保）

4. 技術士は、報告、説明又は発表を、客観的かつ事実に基づいた情報を用いて行う。

（公正かつ誠実な履行）

5. 技術士は、公正な分析と判断に基づき、託された業務を誠実に履行する。

（秘密の保持）

6. 技術士は、業務上知り得た秘密を、正当な理由がなく他に漏らしたり、転用したりしない。

（信用の保持）

7. 技術士は、品位を保持し、欺瞞的な行為、不当な報酬の教授等、信用を失うような行為をしない。

（相互の協力）

8. 技術士は、相互に信頼し、相手の立場を尊重して協力するように努める。

（法規の遵守等）

9. 技術士は、業務の対象となる地域の法規を遵守し、文化的価値を尊重する。

（継続研鑽）

10. 技術士は、常に専門技術の力量並びに技術と社会が接する領域の知識を高めるとともに、人材育成に努める。

図-2 基本綱領

「技術者」対

「公衆」、「業務の相手方」、「技術者」

2. 事例研究報告

前回、第1回技術者倫理フォーラムの事例研究報告では、実際に起こりそうな具体的な問題事例について、現場に携わる技術者としてどのような判断をするべきかと言う視点で報告されました。

第2回技術者倫理フォーラムでは、倫理的問題事例について、そこに関わるステークホルダー（利害関係者）の多様な立場や思考について報告がありました。

また、当日ご来場いただいた皆様からも事例研究課題に対する様々な考えをお聞きし、今後の倫理研究会における貴重な情報とすることができました。

(1) 科学技術者の倫理

倫理研究会 佐崎技術士、今井技術士



写真-3 左から今井氏、佐崎氏

【環境保全と会社の利益に悩む企業内技術者の事例】

- ・ 模範解答(内部告発、法の整備)の内容を解説し、被用者としての技術者の立場で考察した。
- ・ 倫理的問題事例を、学会倫理規定や技術士倫理綱領などの規範と照らし合わせて考察した。
- ・ 主人公(企業内技術者)が取るべき創造的折衷案を整理した。
- ・ その創造的折衷案について、様々な倫理問題の解き方により検証を行った。

倫理問題の解き方

- ・田中は、倫理綱領により結論を導き出したが、これが正しいか他の方法で検証してみる
 - ・倫理問題事例の多くは「線引き問題」か「相反問題」のいずれかに分類できると言われている
 - ①線引き問題: どの程度の行為までは許されるか、どこからは許されないのか、境界線を引く問題
 - ②相反問題: 二律背反の状況を解決する問題
- ↓
- この事例は、公共の利益と企業の利益の相反問題と考えられる

相反問題の解き方(1)

A) 功利主義テスト

対象とする人々の最大多数の最大幸福を目指す。

- ①行為功利テスト: この行為は他の取りえらるどの方法よりも最大の幸福を生むことができるか
- ②費用便益テスト: その行為(投資)は最大の利益を生むか
- ③規則功利テスト: その規則を作って従えば皆が幸せになれるか

相反問題の解き方(2)

B) 個人尊重主義

個人の主張を最大限に尊重する。功利主義で決定した方法が個人の人権を侵していないかチェックする。

- ①黄金律テスト: 自分がしてほしくないことを他人にしないかを判断する
- ②自減テスト: 自分のした行為をみんながしたら、自分も不利益を被るか否かを判断する
- ③権利テスト: 関係する人の人権を最も侵害しない行為を選ぶ

線引き問題・相反問題…。

“最大多数の最大幸福”さて、その解き方は？

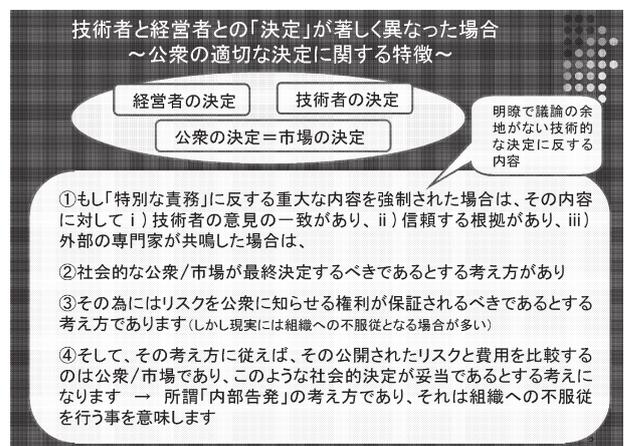
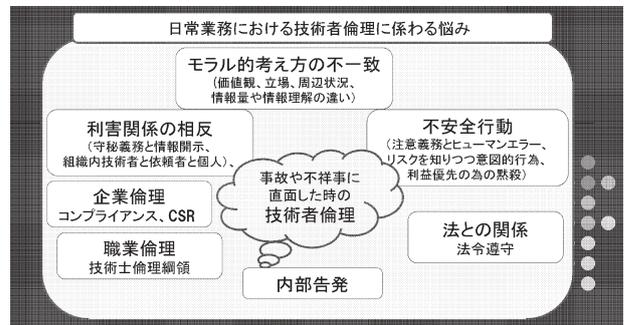
(2) 組織内技術者の悩み

倫理研究会 花田技術士、日下部技術士



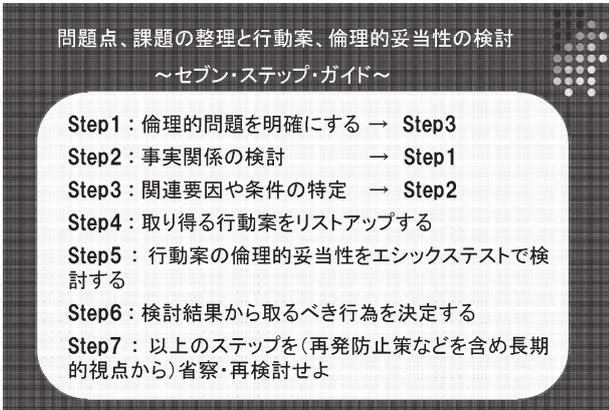
写真-4 左から花田氏、日下部氏

- ・組織における技術者と経営者の関係と、双方の「適切な決定」の要因などを体系的に整理した。
- ・双方の決定が著しく異なった場合に生じる組織内の問題と、技術者が取るべき行動を考察した。



【適切な決定に関する事例研究】

- ・人それぞれの価値観、置かれた環境、情報理解の違い等により、考え方は千差万別となる。



技術者の倫理とは…。

経営者の倫理とは…。

3. 情報交換会

フォーラム終了後、「第2回技術者倫理フォーラム」の開催を記念して情報交換会が開かれました。約40名の皆様のご参加をいただき盛大な情報交換会となりました。

齊藤支部長をはじめ、多くの方々からの来賓のご挨拶をいただき、第二回を迎えた倫理フォーラムおよび研究会に対する貴重なご意見をいただきました。



写真-5 情報交換会

あとがき

今回の事例研究報告(2)「組織内技術者の悩み」の中で、ご来場の皆様に当該事例に関するアンケートにご協力いただきました。その集計結果は、本年度倫理研究会の第2回定例会(6月13日開催)において、早速議論させていただきました。

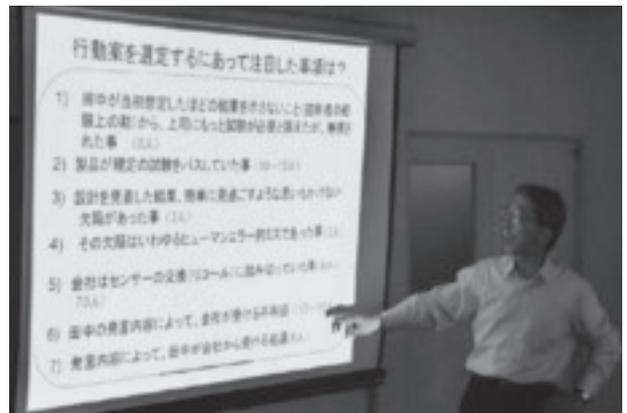


写真-6 集計結果を発表する花田氏

倫理研究会では内部講師によるミニ講演会を定期的に開催しており、会員各位の倫理的課題に対する様々な立場や考え方に触れることにより、より深い倫理的思考の醸成を目指しているところであります。

つまり、倫理的問題のベスト・アンサー(最良の答)を求めることより、その課題を解決するための多様なベスト・プラクティス(最良の慣行)を体験することに主眼をおいて議論が進められております。

倫理研究会の活動内容は、本年より北海道支部HPに掲載しております。皆様も熱い議論をご一緒に如何ですか？

ベスト・アンサー(最良の答)より、
ベスト・プラクティス(最良の慣行)

武田 雅志(たけだ まさし)

技術士(建設/総合技術監理部門)

公益社団法人 日本技術士会北海道本部
倫理研究会

